

問う市政を

一般質問

質問・答弁の要旨

一般質問を行った議員の順番で、各議員が一定のスペースでまとめたものを掲載しています。二次元コードから各議員の一般質問の録画配信へアクセスできます。(2月20日まで)

防災DXで防災備蓄倉庫の管理を万全に

対馬：国分寺市が現在利用している災害用備蓄品管理要請システム「B-order」について伺います。このシステムを活用することで物資の要請から調達手配までの情報を関係者間で一元的に管理・共有できるため進捗状況の把握が容易となるので、物資要請の迅速化・円滑化にもつながると考えます。現在国分寺市は災害時に焦点を当てた利用をしています。今後は更にB-orderを活用する相手方を増やしていく必要があるのではないのでしょうか。

総務部長：国分寺市としてもこのシステムを活用したいと考えているため、物資関係の協定団体についてはこのシステムの活用に賛同してい

ただけるよう働きかけをしてまいります。

対馬：また、この「B-order」は備蓄品をシステム管理できるため、災害時のみならず平時の物資管理も可能です。国分寺市が災害時の相互応援協定を結んでいる多賀城市では備蓄品の入替作業を「B-order」を運営する会社に業務委託し、効率化を図っているとのこと。国分寺市も現状の職員の方々が入替作業をするよりも品質管理や人件費の観点からも業務委託することにメリットがあると考えますがいかがでしょうか。

総務部長：多賀城市では物品の入替えを職員以外で行うことで、職員の負担軽減や事故防止を図ることができ、さらに備蓄品の管理の正確性

自由民主党国分寺
対馬 ふみあき

も向上したということでございます。一方、管理を委託したことで、職員が防災倉庫内の備蓄品の状況を十分把握できない問題が発生し始めているようにございます。本市におきましても、平時や災害時ともに備蓄品を正確に管理することが求められていますので、多賀城市の取組から効果と課題について、今後についても研究してまいりたいと考えてございます。

【B-order】備蓄品を一元管理するシステム。備蓄品ごとにバーコードを貼り在庫を管理することで、備蓄品の消費状況が随時把握可能となる。

安全安心なまちづくりを強力に推進！

■防犯対策について

はぎの) 知識と経験豊かな警察官OBの方々による無料防犯診断を採用してみたい。

市) 他自治体の取組を研究してまいりたい。

はぎの) 自宅の防犯対策を防犯診断票などでセルフチェックできるような取組はできないか。

市) 侵入等を防止するために家の防犯チェックシートを作成して今後取組んでまいりたい。

はぎの) 住まいの防犯対策費用助成制度、防犯グッズ購入費助成制度の創設を提案したい。

市) 実施している自治体を調べ、本市でも実施できるかどうかを今後検討してまいりたい。

■認知症対策について

はぎの) 本市の新任職員研修に認知症サポーター養成講座を組み込む提案をしたい。

市) 毎年1回、職員を対象とした講座を実施している。庁内で参加を募る際に工夫ができないか、検討してまいりたい。

はぎの) 若年性認知症への支援状況を伺う。

市) 認知症地域支援推進員が他自治体の若年性認知症に係る取組の視察に伺い、地域での支援の在り方に向けて検討を始めている。

はぎの) 若年性認知症の早期発見の取組や診断された方と地域とのつながり方など、先行自治体からの情報収集と研究をお願いしたい。

■新庁舎について

公明党
はぎの 英輔

はぎの) 1階の多目的スペースの活用で、市民ギャラリーを設置し、市民団体による展示や市文化財の展示ができるように要望をする。

■無料相談について

はぎの) 市民が無料で弁護士等の専門家に相談できる特別相談事務事業について、新庁舎への移転に伴い、外国人の対応について伺う。

市) 新庁舎の1階と2階の窓口に導入予定の音声認識アプリを用いたアクリルパネル、三者間通話サービス等の活用を含めて研究したい。

【その他】 ■出前授業について質問しました。

市民のために、安全と思いやりの共生社会を

HPVワクチン接種について

久保) キャッチアップ接種対象者の接種希望者が増加。今の状況は。市) すでに令和5年度実績を超え、本定例会で補正予算を計上予定。

久保) キャッチアップ接種の実施期間延長の報道がある。市としての対応詳細は。市) 国の方針が示されたら周知広報等、対応する。

久保) 定期接種対象者への勧奨・啓発の工夫を。市) 勧奨内容に工夫し、対応する。

仮設トイレ (国分寺まつり等) について

久保) 初めて使用する人がいるとの意識で、説明を含む配慮が必要だ。市) 改善を図っていく。

久保) イベントの機会に「仮設トイレの運用がある」等の防災情報の周知をしてはどうか。市) イベント時の実現は難しい。しかし、災害時のトイレの運用情報を事前に周知するのは効果的だ。検討する。

24時間使用可能なAEDについて

久保) AEDの屋外移設事業の現状は。市) 令和5年度9施設、6年度8施設。令和7年度からの3年間で30か所を実施する予定。

久保) 命を守る大切な事業、高く評価。AEDをマップに反映し「市の防災アプリ」に情報を連動することは可能か。市) システム上できないが、リンク集に追加することは検討する。

戸倉通りの西町一丁目付近の安全対策について

公明党
久保 けいこ

久保) 西町一丁目の約9年間の世帯増は市内で二番目。第二小学校児童数は市内で一番多く、通学児童の増加で通学路の安全対策が急務である。市の考えは。市教育) 現に通学に利用している横断歩道を目立つものにする、注意喚起する標識の設置など、講じることのできる安全対策を庁内関係課と検討する。市) さらに安全のために、順次、対策を行う。久保) 狭い道路でも安全対策が創意工夫されていることが大切。他、小・中学校での認知症サポーター養成講座開催の定着について提案・質問を致しました。

地域におカネを！1人1万円、PFAS他

「歴史・現在・未来」テーマに質問しました。

1 デジタル地域通貨による1人1万円給付

高野) お金は国が作るというのは歴史的事実。国が財政支出を増やして生活が苦しい国民を助けるべき。国がしないなら市が地方債を振替えて市民1人1万円発行という考えについては？

市) 将来世代に債務残し、財政運営阻害の恐れ。

高野) 将来にツケ残すと言う間に今の世代が残らない。1人3千円商品券第2弾、第3弾は？

市) まずは今の事業に注力する。

高野) デジタル地域通貨を発行し、流通させれば地域経済の活性化に役立たないか？

市) 地域経済活性化の一助になるがさらに検討。

2 生活保護について

親族に知られる扶養照会に焦点を当てました。

高野) 扶養照会で実際に仕送りされた件数は？

市) 過去5年間で実績はない。

高野) 本人が希望すれば扶養照会をしない運用に変えないか？

市) 扶養照会は重要。必要ないとは思えない。

高野) 「保護申請は権利」ポスターの作成は？

市) ポスター検討していないが意見として聞く。

3 非正規市職員について

高野) この20年で非正規市職員は4倍増え、正規は110人減少。国は方針転換した。市も会計年度任用職員5年目公募をやめては？

無会派
(れいわ新選組)
高野 ふみお

市) 検討する。

高野) 退職手当創設は？さらなる処遇改善を。

市) 処遇改善は他市に先んじて来た。対応する。

4 有機フッ素化合物 (PFAS) について

高野) 汚染はいつから？10年以上は続いたか。

市) 都によれば暫定目標値設定後は超えてない。

高野) 国も推奨する既存統計での健康調査は？

市) 国が因果関係不明としているので、しない。

高野) 市内の清涼飲料水の安全性確認は？

市) 国に基準が無い。国の動向を注視していく。

「疑わしきは罰する」予防原則による対応要望。